

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
国語	文学国語	2	2	必	特進コース/難関突破
科目の目標	日本語の言語文化を理解し、言語文化に親しむことができる感性と創造力を磨くとともに、作品鑑賞を通じて人生を深く見つめることができる態度を養う。主として「思考力、判断力、表現力等」の感性・情緒の側面の力を育成する科目として、深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする資質・能力の育成を重視して生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
教科書	「文学国語」数研出版	副教材等			

1. 学習の到達目標

日本語の言語作品に深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)、Y(思考・判断・表現)、Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
文学の扉 山月記	8	4 5	作品の構造を理解するとともに主人公の心情を把握する。設定の意味について考え、文学における象徴的表現の効果について考える。	○	○	○
平成の小説 鍋セット	4	5	現代を代表する作家の作品を読み、現代人が直面する課題を考え、人生をより深く見つめる。	○	○	○
昭和後期の小説 ナイン	4	6	現代を代表する作家の作品を読み、登場人物の造形を通して作者の人間に対する洞察を読み取る。	○	○	○
昭和初期の小説 山椒魚 水仙	8	7	主人公の行動の背景にある思いを読み取り、人生の苦悩・芸術家の葛藤・他者との関係性などさまざまな問題について考える。	○	○	○
大正の小説 こころ	10	8 9	作品構造を把握し、時代の文脈をふまえながらも普遍的な青年の心情を理解する。さまざまな解釈も併せて学び、読みの多様な可能性について認識を深める。	○	○	○
詩歌	6	10	近現代の詩歌のさまざまな表現に触れ、修辞法や表現の工夫について知るとともに、作品に親しみ、鑑賞を深める。	○	○	○
文学評論 文学のふるさと 演技する「私」	6	11	文学に関する評論を読み、言語芸術を感性でとらえるだけでなく言語化・論理化することの可能性を知り、内容を理解する。	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
昭和中期の小説 赤い繭 野火	8	12 1	戦中・戦後という時代を背景とした、人間存在の根本を問う問題意識を作品から読み取り、行き方について思索を深める。	○	○	○
大正の小説 檸檬	6	2 3	計算された緻密な構成と繊細な感覚によって描かれる心情を読み取る。自己を見つめる手がかりとして作品について討議する。	○	○	○